

活動団体名	一般社団法人サステナビリティセンター
所在地	宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館69番地15
団体の目的	いのちめぐるまちの実現とその理念の普及
活動地域	宮城県南三陸町、他
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	「東日本大震災からの復興と循環型でレジリエントなまちづくり」を学び、研究を行うため、全国そして世界各国から人々が訪れる地域
地域の現状・課題	「森里海ひといのちめぐるまち」を掲げてまちづくりに挑んでいるが、担い手が減少する中で、いかにして次世代も含めた活気ある取り組みを持続していけるか。変化する自然環境、縮小する地域経済、人口減少による社会課題の噴出への対処を地域が共有し、具体的なアクションにまでつながっているとはいえない状況にある。
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> ・分水嶺で囲まれ、源流から海までわずか数kmで到達する、「世界の縮図」ともいえる町域。 ・震災からの復興のなかで「いのちめぐるまち」を掲げ、家庭の生ゴミ分別から始まる地域内経済・物質循環の仕組みを取り入れたこと。 ・世界でも例を見ない山のFSC®と海のASCのダブル認証取得。 ・思いを持った多様なプレイヤーが存在し、チャレンジし続けていること。
取組内容	いのちめぐるまちの実現に向け、町内のプレイヤーや東北大学の研究者らと協力し、地域の資源や取り組みの見える化を行い、全国に発信。また、地域の森里海事業者らが交流し情報交換できる場として「いのちめぐるまち推進協議会」を主催し、定期的に協議会やサステナビリティに関する講座を開催。教育旅行や企業研修、学生インターン受入れによる次世代養成に注力。
地域循環共生圏を实践することで想定される効果	<p>(環境)住民がこれまで以上に環境配慮型の活動の意義を理解し、資源の持続可能な活用について意識するため、生物多様性の保護により配慮するようになる。</p> <p>(経済)地域内経済循環の割合を引き上げることの意義が浸透し、地域産品の価値向上を意識するため、結果として地域内の商品・サービスの質が向上し経済活動の維持が図られる。</p> <p>(社会)持続可能な資源活用による豊かな地域の存続のために活躍できる人材が育成され、環境・経済・社会にまたがる課題解決の担い手が生まれる。</p>

南三陸町バイオマス産業都市構想

